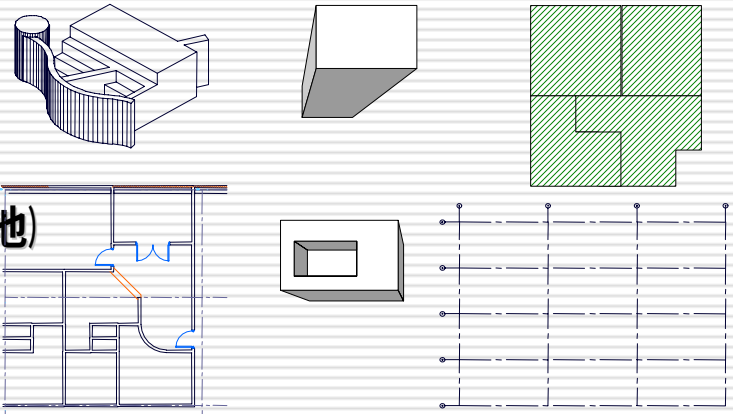
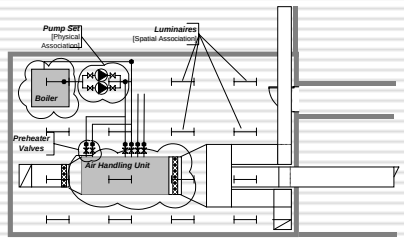
国内に於ける建設モデルデータの実利用と今後の運用

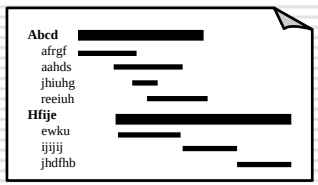
IAI日本　広報　　平野　雅之
IAI日本　技術検討分科会　　太田　孝和

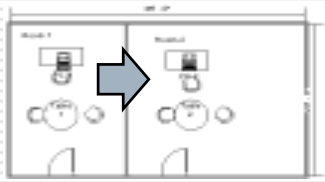
IFCがサポートしている主な情報

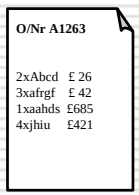
- 形状 (2D, 3D, トポロジー)
- 建物要素間の関係 (開口、ゾーン…)
- 建物要素 (壁、ドア、窓、屋根、階段…)
- スペースとスペースの構造 (部屋、階、建物、敷地)
- 機器 (冷凍機、送風機、ポンプ…)
- 通り芯
- コスト (単価、積算)
- 工程 (4D)
- Actors (人間、組織、住所…)
- 指示書 (設計変更、購入指示…)
- 資産台帳、在庫
- 保守履歴
- 配置管理
- 分類
- 外部ライブラリ
- 関連文書

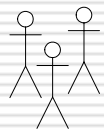


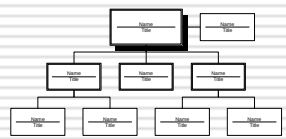






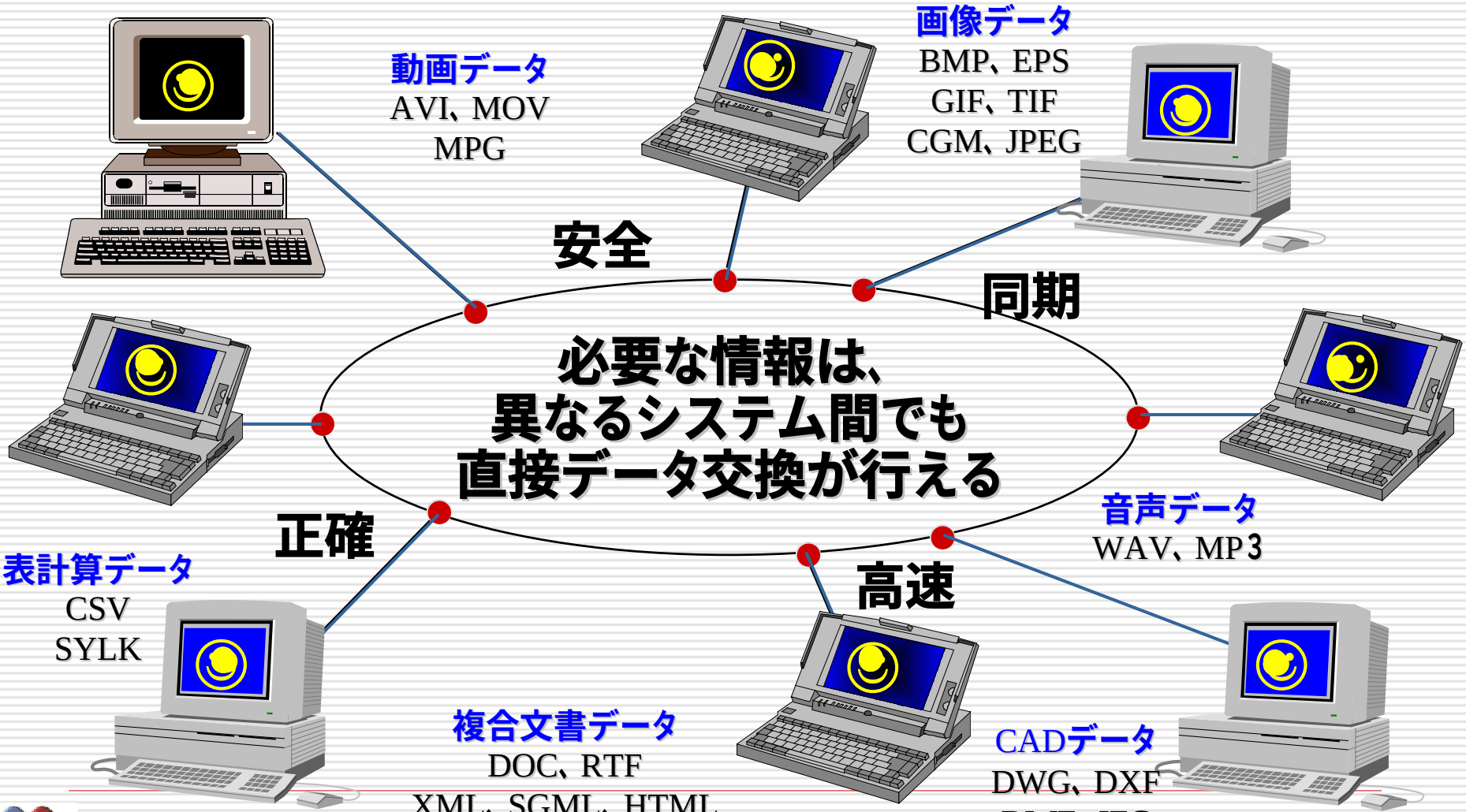






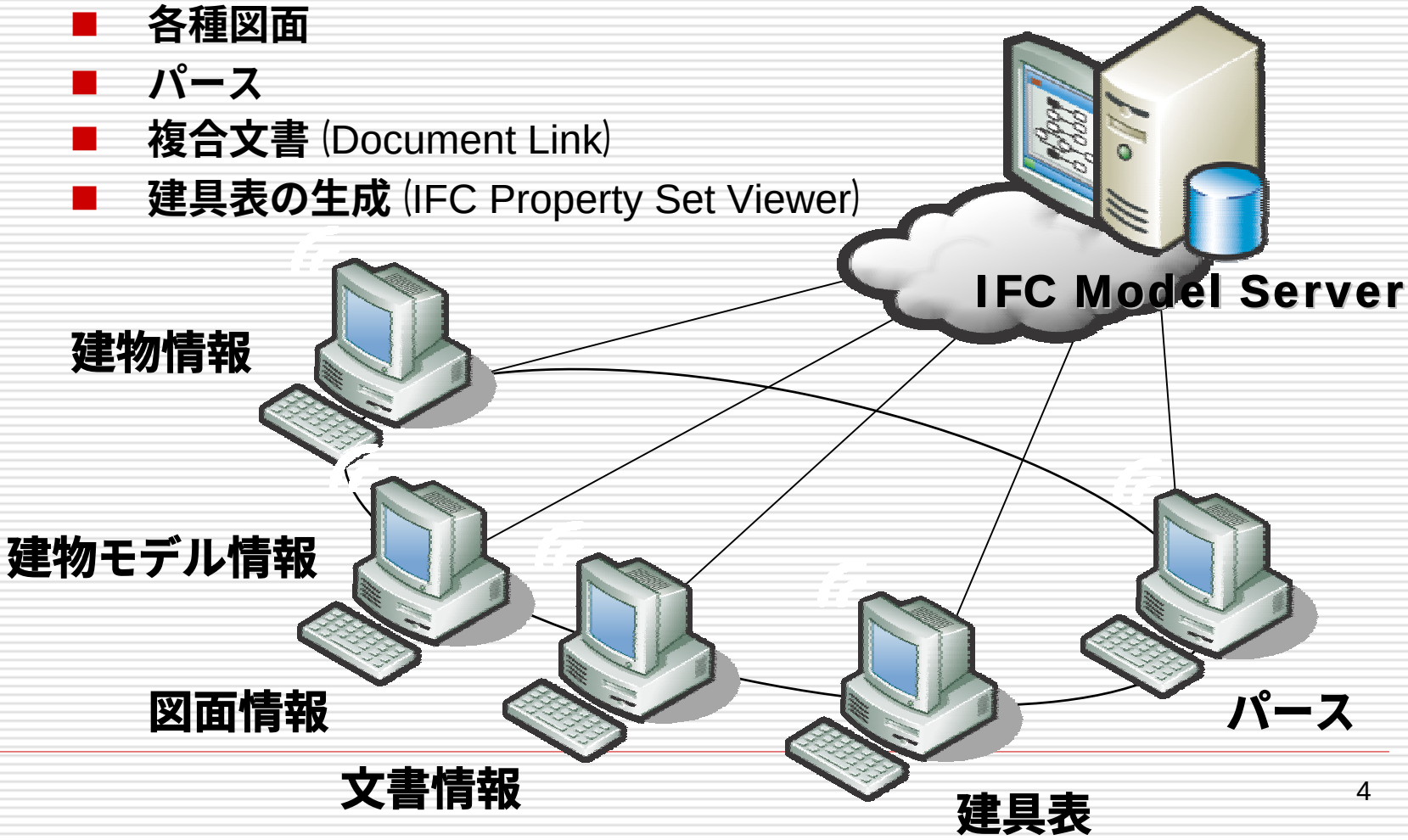
IAI北米支部資料より

IAIがめざす情報化


動画データ
AVI、MOV
MPG
画像データ
BMP、EPS
GIF、TIF
CGM、JPEG
安全
同期
必要な情報は、
異なるシステム間でも
直接データ交換が行える
正確
高速
音声データ
WAV、MP3
表計算データ
CSV
SYLK
複合文書データ
DOC、RTF
XML、SGML、HTML
PDF
CADデータ
DWG、DXF
DWF、IFC

IFC Model Serverを利用した情報共有

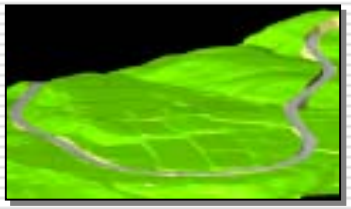
- 3次元モデルデータを中心に
  - 建物情報
  - 各種図面
  - パース
  - 複合文書 (Document Link)
  - 建具表の生成 (IFC Property Set Viewer)



DEMO

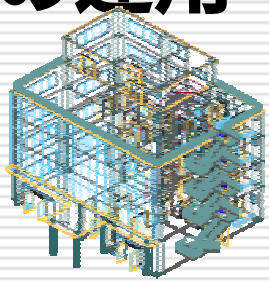
IFCを利用した今後の展開

□ 企画から管理データとしての運用

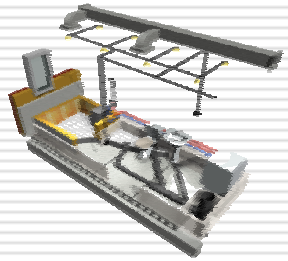


地形情報

企画情報



モデル情報

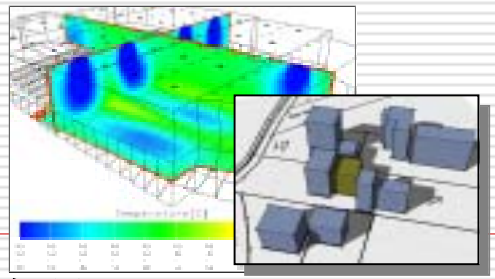


設備備品情報

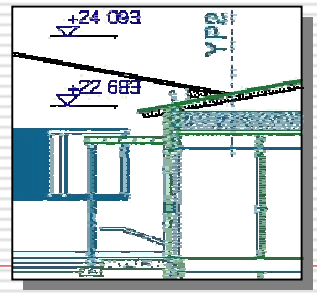
IFC Model Server

将来の電子納品情報としての利用

各種パース



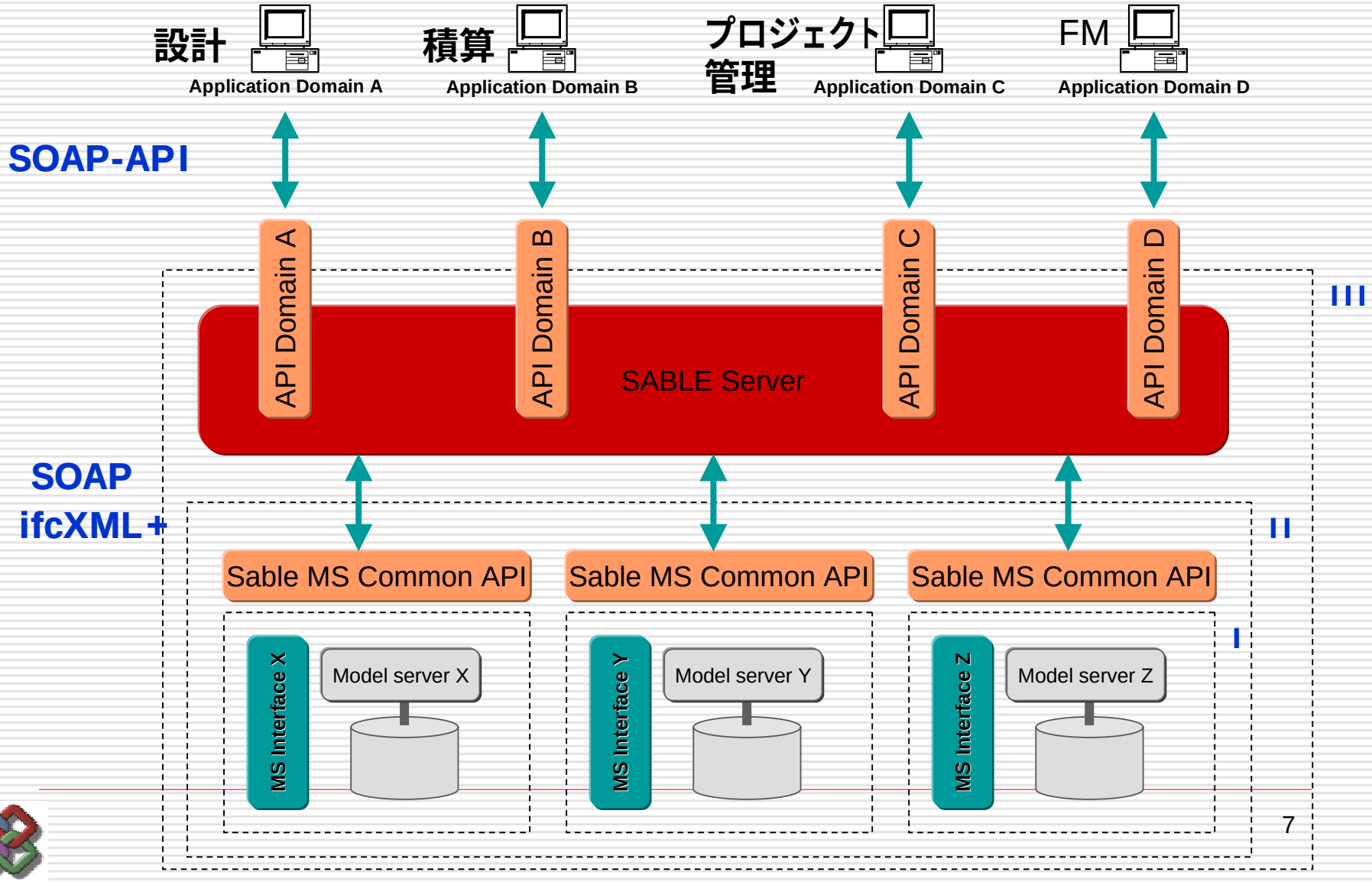
各種シミュレーション



各種図面情報

工程管理情報

インターネットを利用した情報の共有



ご清聴ありがとうございました

皆様の参加をお待ちしております。